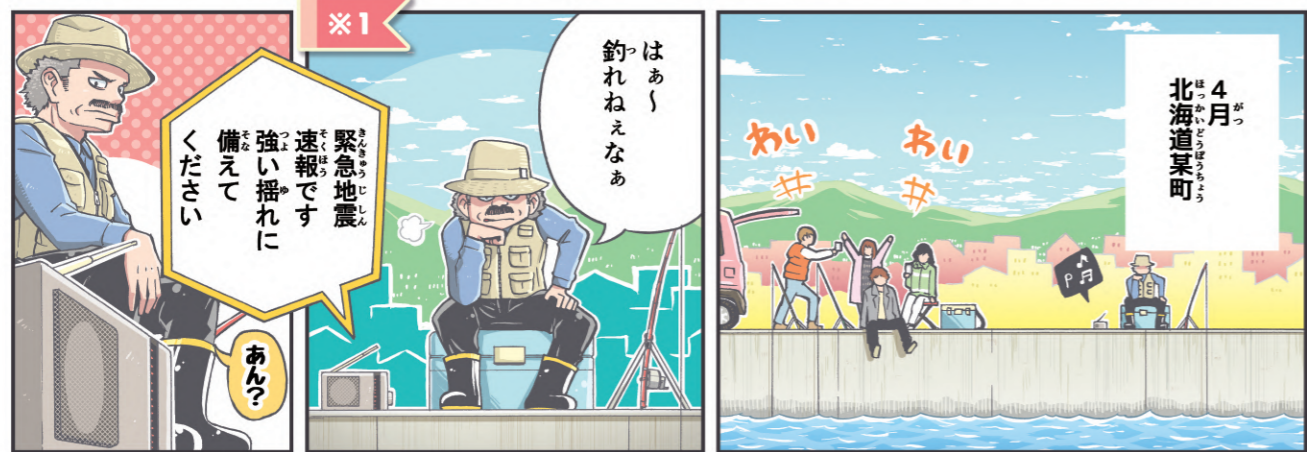


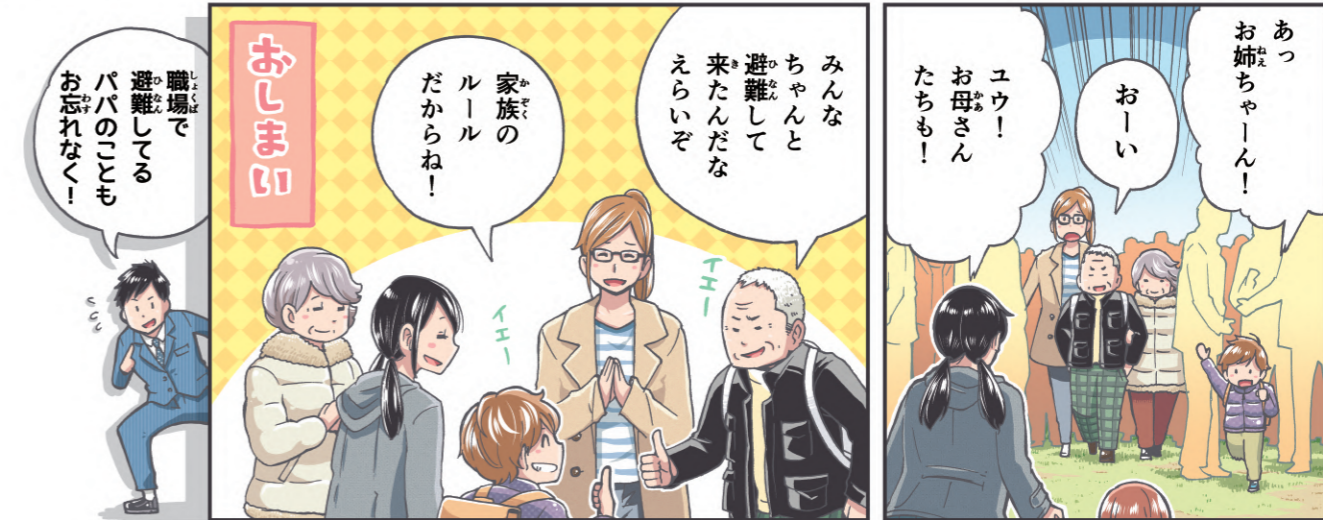
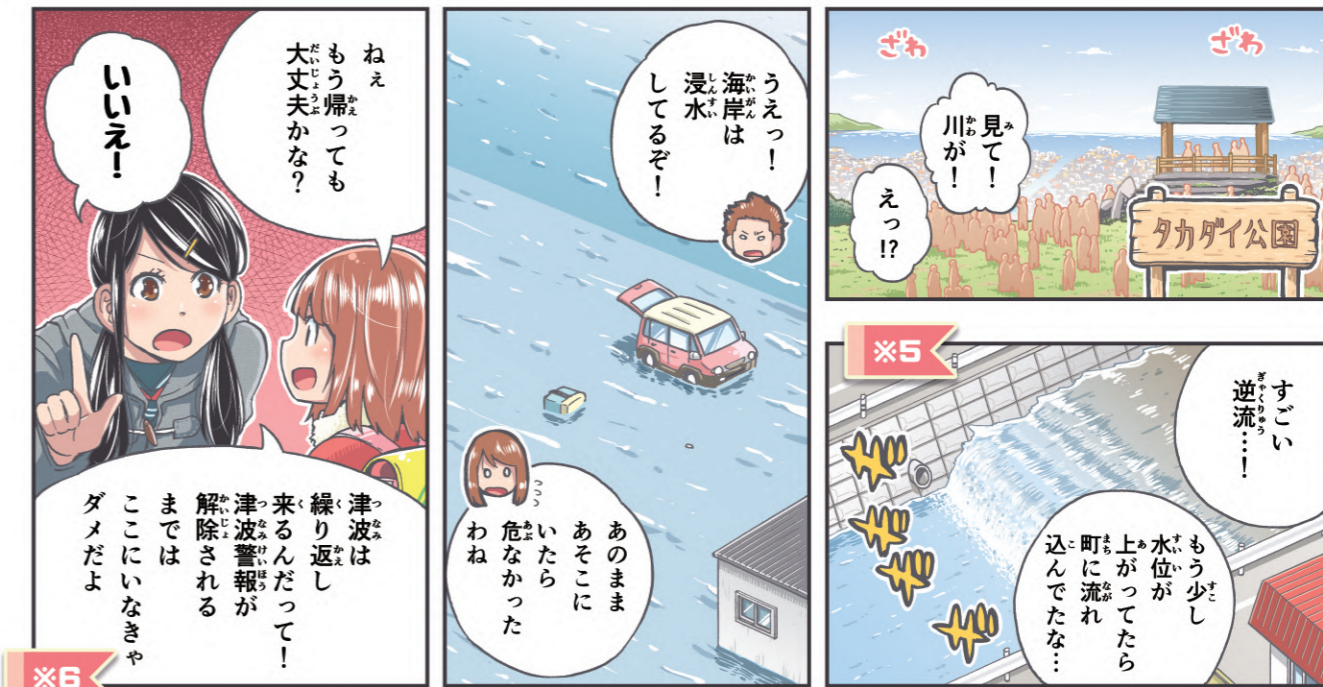
# 地震津波

起きたときには

まさか必ずやってくる!



※1 震源が近い場合、緊急地震速報が揺れと同時に、揺れた後に発表されることもあります。



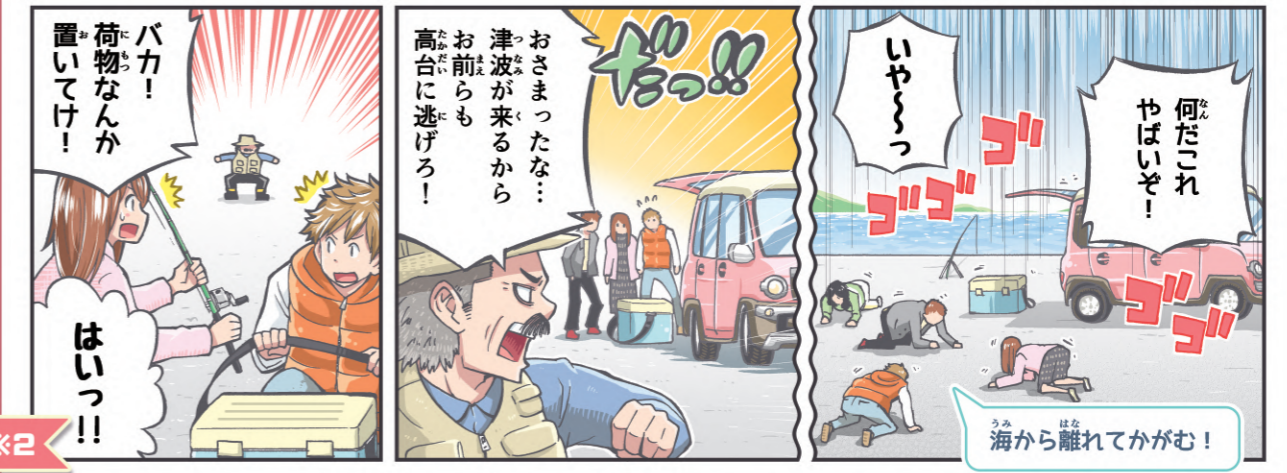
- ※5 津波は河口から河川をさかのぼり、堤防からあふれて、海から離れた地域も浸水することがあります。海から離れているからといって油断せず、河川から離れ、より高いところなど安全な場所へ避難してください。
- ※6 津波は何度も繰り返し襲ってきます。第一波が最大とは限らず、第二波以降に大きな津波が来る可能性もあります。第一波の津波が低かったからと安心して、家まで荷物を取りに戻ったりしてはいけません。

津波からのちを守るために (事前の備え)

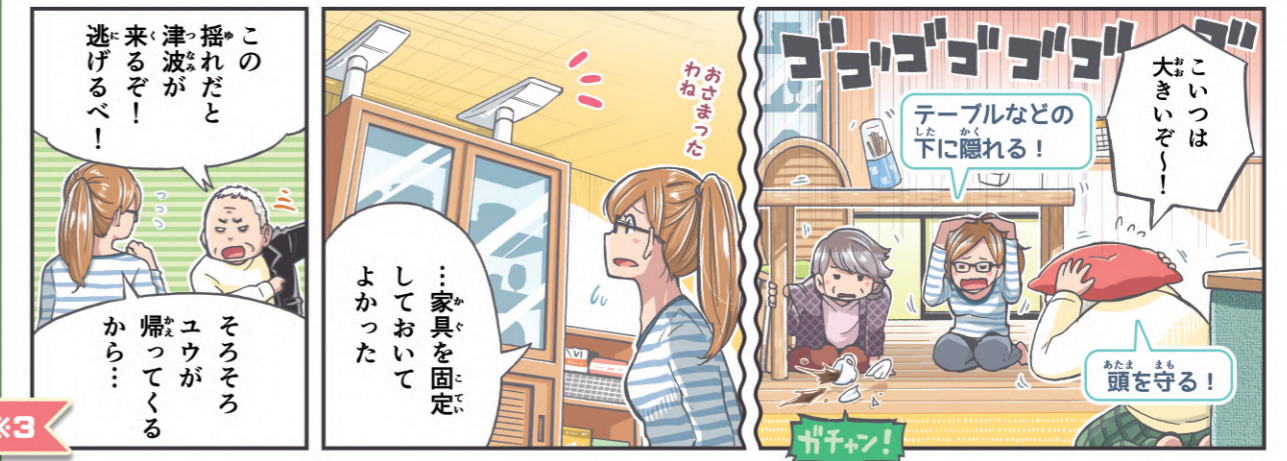
住んでいる地域のハザードマップ(防災マップ)を見て、「自宅から避難場所へのルート」「職場や学校から避難場所へのルート」「生活圏にある津波避難場所、津波避難ビルの場所」を確認しておきましょう。

作画: ヤマトマナブ

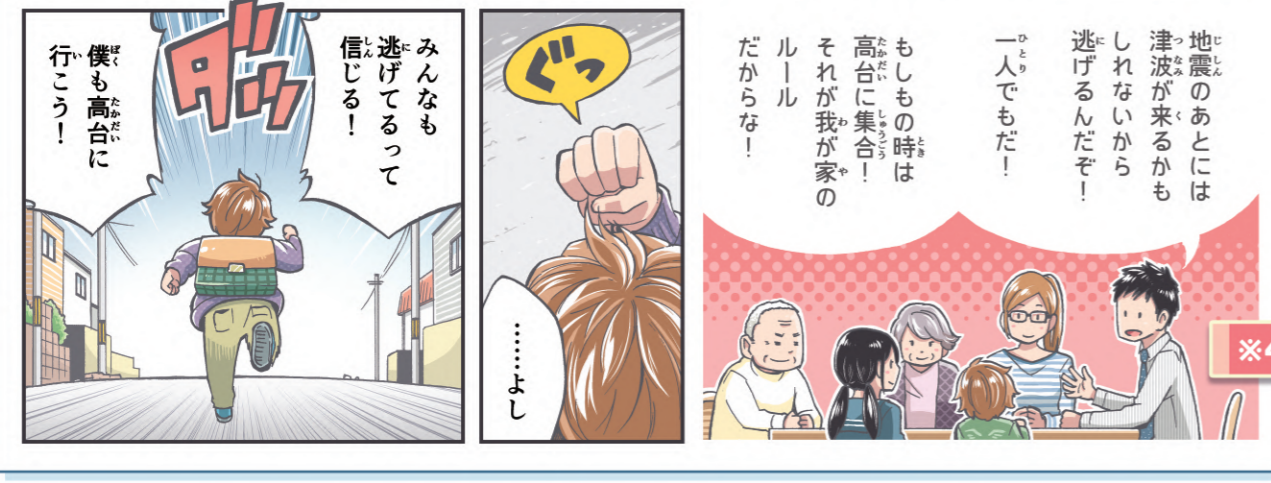
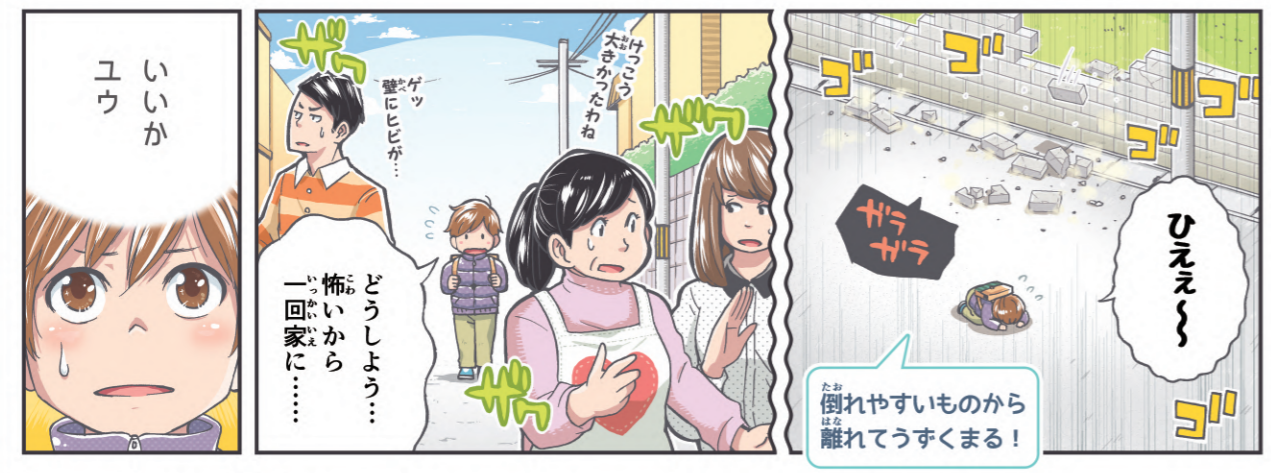
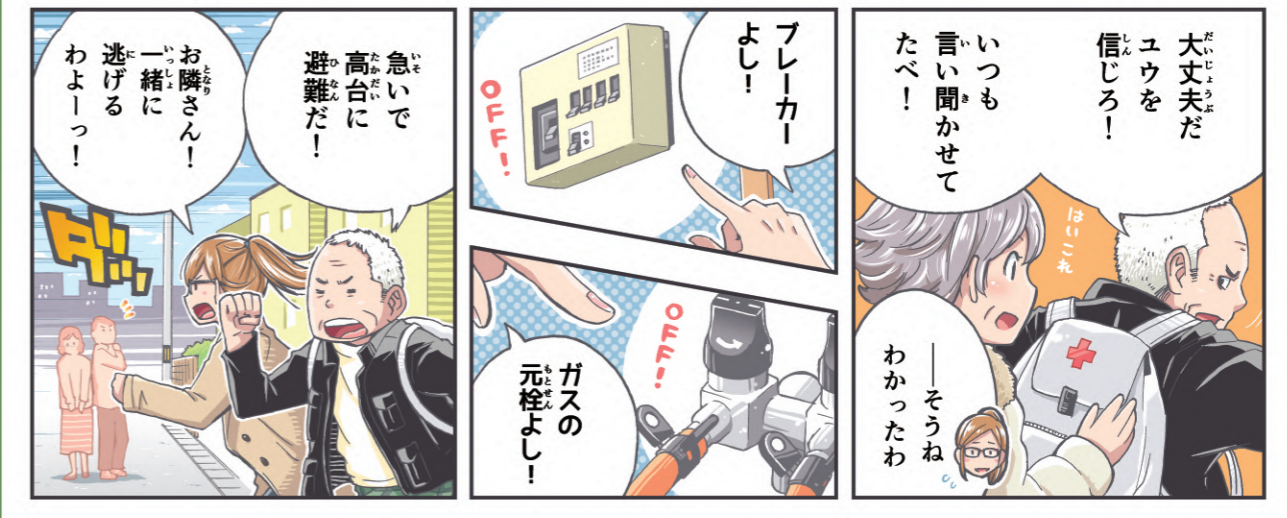
北海道 旭川市 出身の まんか家だよ!



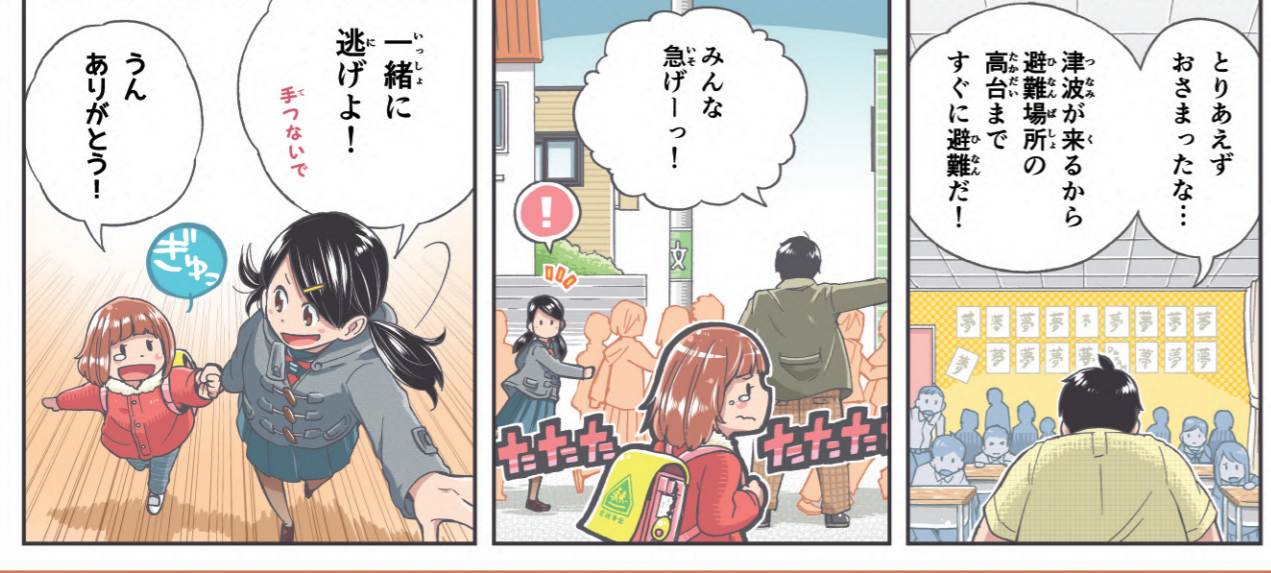
※2



※3



※4



- ※2 震源が近いときは、津波警報・注意報が津波の襲来に間に合わないことがあります。津波の危険がある場所にいるときは、揺れがおさまったら、津波警報・注意報を待たずに急いで安全な場所へ避難を始めましょう。
- ※3 内陸の町など、海や川から十分に遠く、家が無事で、地域に火災の危険がなければあわてて避難する必要はありません。火の手や煙が見えないかなど、周囲の様子をよく確認しましょう。
- ※4 家族一人ひとりの安全確認を待たずに、まずは、それぞれ安全な場所へ避難することを、日ごろから家族で話し合い、約束しておきましょう。